

SANSHIN GROUP

Monthly Report on the CSR

Nov.2018



INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. CSR Report (品質)
4. CSR Report (環境)
5. CSR Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

ここに来て、北京の大気汚染、PM2.5が再び悪化しているらしい。原因は、米中貿易戦争のなか、国内産業を守るべく、工場の稼働率を上げているからと推察されている。要するに、実需はなくとも、目先の工場稼働率を上げれば、会計的に企業の利益は出るからである。ただし、作った製品の多くが売れるまで、日数を要するだろう（もしくはデッド在庫となる）。日本の原発もそうであるが、実需なくとも、企業は稼働率を上げることで、利益確保をしようとする。それがファンタジーなものであろうとも。結局、需給バランスを無視してでも、稼働率を上げ、それを調整できないという、人為的な悪政が、さまざまな環境を駆逐しているのである。

SANSHIN GROUP C.E.O.

石井 宏宗

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

社内研修で6S活動について学びました。5S活動は何度も見聞きしてきましたが6番目のSとは5S活動にもう1つのS『作法』を加え6S活動ということだそうです。今まで6Sの取り組みを「会社をきれいにする」というような捉え方をしていましたが、6S活動をすることで仕事への取り組みがしやすくなり、業務の効率化が図れ、ムダ時間の短縮になる事を改めて学びました。(H.O.)

SANSHINCentre

スターバックスコーヒーとマクドナルドが相次いでプラスチック製のストローを廃止し、紙ストローの導入を進めていく記事を読みました。段階的に取り組みを進め、近い将来、世界中の店舗で全廃を目指す。近年、大海洋に投棄されるプラスチックごみが大きな環境問題に挙がっており紙ストローの導入によりどのような効果をもたらすか注視していきたいと思えます。(M.M.)

CSI

セブは今も建設ラッシュで都市計画が行われています。その中で第三の橋ゴールドバ周辺の道路拡張工事やニューブリッジに隣接する道路拡張工事が始まりました。立体交差点にするともいわれています。渋滞が解消されることを期待しています。(K.S.)

SC2

水道民営化の法案が通過しました。水道の民営化は世界的に問題が多いのですが、なぜ...。水は命の源。その在り方がたった8時間の審議で決まること、遺憾でなりません。(M.I.)

SANSHINWest

街でイルミネーションをよく見かけるようになりました。起源は、夜の森にいた人が煌く星に感動し、木の枝に多くの口ウソクを飾り、星の光の再現を試みたことです。近年、人や環境への悪影響も懸念されますが、エコ分野にさらに期待したいです。(S.Y.)

SHINKOWA

フィリピン・セブ島滞在しております。ショッピングモールで買い物をするのですが環境目的で手さげビニール袋の使用を削減、段ボール箱や紙袋の使用が通常になっています。冷えた飲料や水気のあるものを買ったと、2重の紙袋でも破けてしまうことがあります。エコバックの販売もしていますが耐久性やデザインが気に入り購入はしていません。環境に良い事ですので、慣れるようにします。(M.N.)

SANSHIN HongKong

As the plastic straw cannot degrade. More people use stainless steel straw or silicon straw instead of plastic straws. (B.L.)

SFS

大掃除の季節です。浴室や台所の黒カビは落ちにくく厄介ですね。最近では次亜塩素酸を使ったほぼ無臭のカビ取り剤が人気です。リセット、で検索してみてくださいね。楽天で売っています(笑) (M.I.)

CSR Report (品質)

TOPICS

「小さな習慣の積み重ね」が良い習慣を作る

誰しも良い習慣を身につけたいと思っています。でも、新しい習慣の確立は、そんなに簡単ではありません。何故なら習慣の確立（習慣化）には、数週間から数カ月の期間が必要だからです。そんなとき、マイクロハビットと呼ばれる小さな習慣が役立ちます。

■「マイクロハビット」とは？

例えば、身体作りの為、ジムに行く回数を決めるとします。その場合、モチベーションが大きな課題となります。そんなとき、**マイクロハビットと呼ばれる小さな習慣**が役立ちます。**マイクロハビットとは**、小さくてシンプルな行動です。あまりモチベーションを必要とせず、目標とする大きな習慣に向けて積み上げていけるものを指します。通常、特定のイベントをきっかけにします。

■マイクロハビットのメリットは？

仕事帰りに必ずジムでカードをスワイプする。ここでの目標は、実際にトレーニングをすることではありません。これからでは、身体に健康に影響はありません。でも、**小さな一歩でも、とにかく始めることに意味があります**。すると自分の中で、「ああ、とりあえず始められたんだな。もう少しやってみてもいいかも」という気持ちになることが多いものです。それを**繰り返すうちに小さな習慣が少しずつ増えていき、目標とする習慣に近づいていきます**。

■小さな良い習慣で悪い習慣を退治する

マイクロハビットは、定着してしまった悪習慣を直すにも適しています。悪習慣を始めたいという欲求を、トリガーとして利用するので。不健康なお菓子を食べる習慣があるなら、お菓子のあるテーブルに移動を始めた時こそ小さな習慣のチャンスです。お菓子を食べる前に野菜スティックを1本食べるとしましょう。そのあとは罪悪感を感じることなくお菓子を食べてもOK。計画通りにいけば、いずれお菓子ではなく野菜がおやつとして定着しているはず。 **小さな習慣の積み重ねが、目標だった大きな習慣へとつながったのです**。

ここで素晴らしいのが、**大きな習慣を始めるときに比べて、小さな習慣の場合、心のハードルが低くて済む**ということ。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

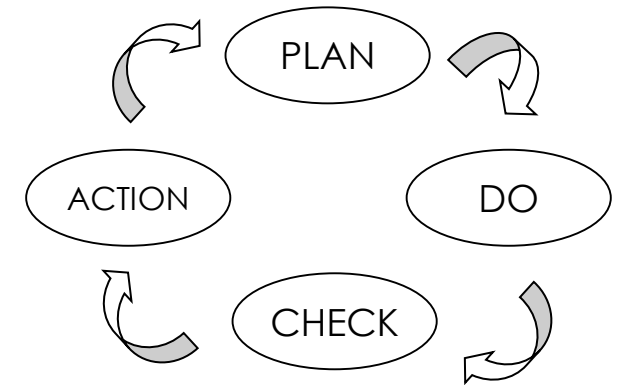
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



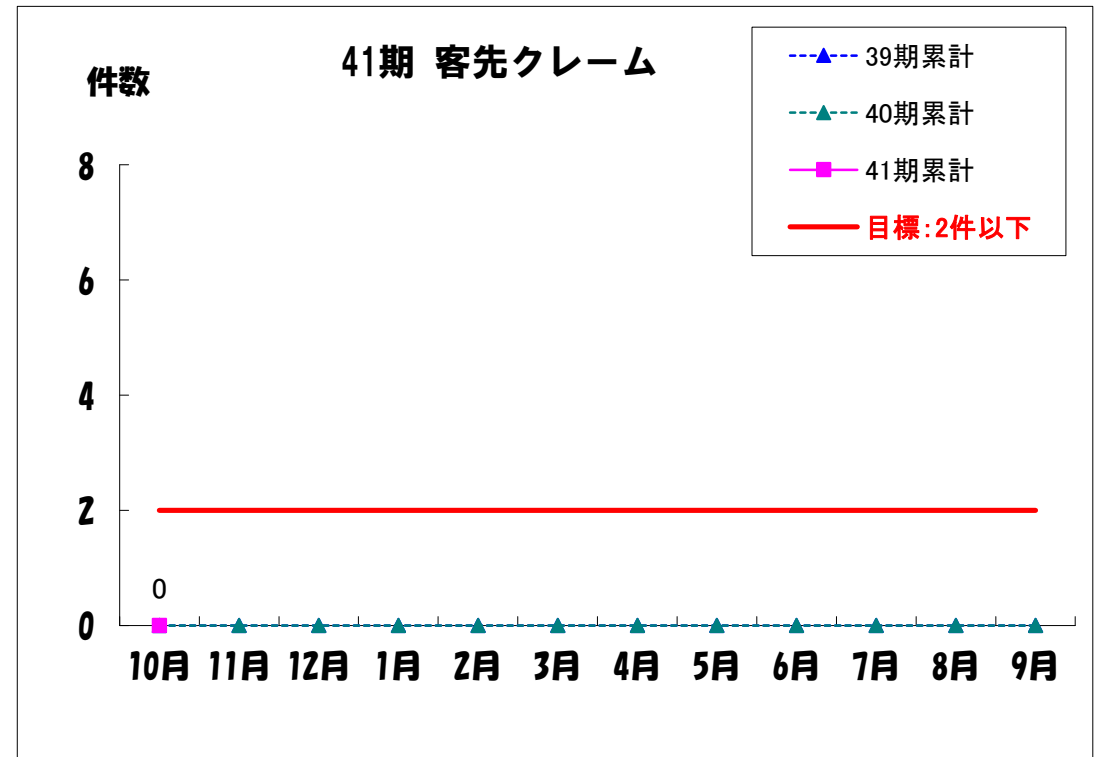
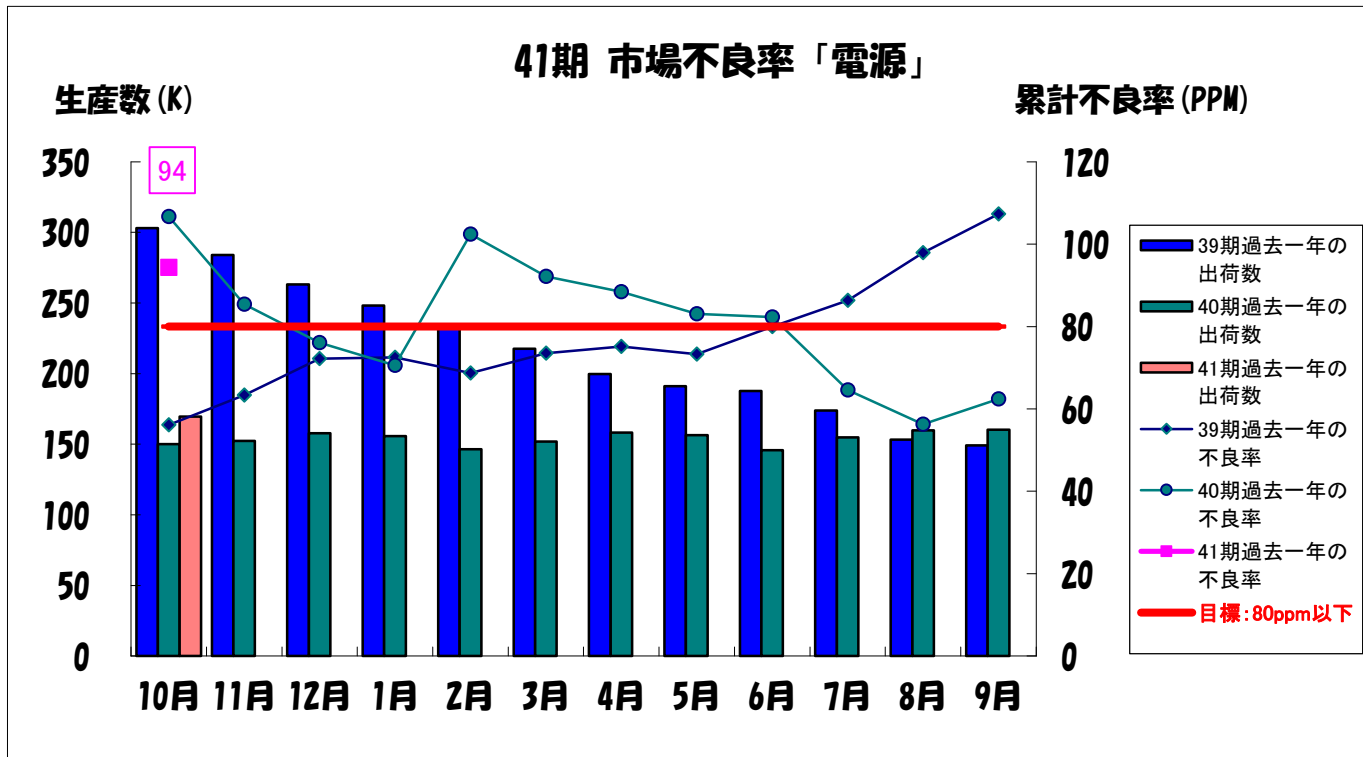
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

41期の累計不良率は、94ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 16件 客先クレーム : 0件



CSR Report (環境)

今月のTOPICS

□ 水道水が飲めるのは15カ国だけ？海外で注意すべき水事情

☑ 世界のほとんどの国の水道水は飲むことができない

私たちは普段、水道水は飲めて当たり前のものだと思っています。最近ではミネラルウォーターやウォーターサーバーの水を日常的に飲んでいる人も多いですが、水道水も日常的に飲んでいても問題ありません。しかし、日本のように水道水が安全なもので、飲んでも問題のない国は本当に少ないのです。水道水が飲めるかどうか不明な国もあるそうですが、一般的には大体15カ国くらいだと言われています。このように、ほとんどの国では水道水をそのまま飲むことができず、基本的にミネラルウォーターを買わなくてはならなかったり、自分でろ過しなくてはならなかったりします。

☑ アジアで水道水が飲める国

アジア諸国で水道水が安全に飲めるのは、日本とアラブ首長国連邦だけです。アラブ首長国連邦ではWHOのガイドラインに沿っているので、水道水は安全だそうですが、国民的にはまだ安心はできていないそうです。そのため、ミネラルウォーターを買う人も多く、特に観光客にはミネラルウォーターを買うようにと勧めているそうです。一応安全で飲めることなのは確かなのですが、やはり国民の大部分がミネラルウォーターを購入している以上、観光の際はミネラルウォーターを買った方が無難でしょう。一方の日本はやっぱり文句なし、安心・安全な水道水です。水の浄化技術は海外でも使われるほど優秀であり、さらに漏水に対する対応も優秀です。

今月のTOPICS

☑ オセアニアで水道水が安全に飲める国

オセアニアで水道水が安全に飲める国はオーストラリアとニュージーランドです。オーストラリアの水道水は、基本的に飲むことができます。心配なら沸騰させてから冷まして飲むとか、ミネラルウォーターを飲めばいいという感じだそうです。ただし、オーストラリアのミネラルウォーターは高く、ジュースよりも高値で売られていることもあるそうです。水道水を飲んでも健康被害があるわけではないようなので、オーストラリアの水道水は安心して飲んで大丈夫でしょう。そしてニュージーランドの水道水は、地域によって品質がさまざまであり、フィルターを使うことを勧めている自治体もありますが、基本的には安全な水です。地域によってはおいしい水道水が飲める場合もあるそうです。また、多くの地域では水道水にフッ素が入っているので、虫歯予防にもなるそうです。

☑ アフリカにも水道水が安全に飲める国はある！

アフリカでは、南アフリカとレソト、モザンビークの3カ国の水道水は安全だそうです。南アフリカでは治安に問題はありますが、意外にも水道水に関してはきちんとしています。そしてレソトもモザンビークも南アフリカのすぐお隣同士、レソトに関しては南アフリカ国内にある国なので、南アフリカ同様に安心して水道水を飲むことができます。ただしモザンビークでは、国土交通省からは水道水をそのまま飲んでも大丈夫だと言われていますが、外務省からは煮沸消毒してから飲むようにと意見が違っていています。水道水をそのまま飲んでも問題はなさそうですが、心配なら煮沸消毒するかミネラルウォーターを買いましょう。

今月のTOPICS

☑ 水道水に関して安定しているのがヨーロッパの国々

ヨーロッパでは、フィンランド、スウェーデン、アイスランド、ドイツ、アイルランド、オーストリア、クロアチア、スロベニア、スイスの水道水は安全だそうです。（不明な国もあるので、もっと多いかもしれないそうです。）特にアイスランドの水道水は、消毒など手を加えておらず天然の水が水道から流れ出てきます。アイスランドの水は世界で最も綺麗な水、おいしい水と言われており、水道水そのものが天然水ですから、ミネラルウォーターを購入する人はほとんどいません。アイスランドの水道水は、アイスランドのどの料理よりもおいしいと答える人もいるほどだそうです。そして、オーストリアの水道水はほとんどがアルプスの湧き水です。アルプスの水はおいしいと有名な水ですし、オーストリアは衛生管理の行き届いている国なので、水道水を飲んでも問題ありません。しかし、ヨーロッパの国の水道水の多くは硬水です。硬水は日本人にとって飲みにくいと思う部分もあり、また、胃の弱い人はお腹を下してしまうこともあります。硬水が体質的に合わない人は、ミネラルウォーターで軟水を購入することがおすすめです。

☑ 実は他にも水道水が飲める国はあるらしい・・・

実は、他にもカナダやアメリカ、スペイン、イギリス、デンマーク、フランス、オランダ、ベルギー、シンガポールなども水道水は飲めると言われています。水道水が安全に飲める国、飲めない国には諸説ありますが、やはり面積が広い国は、水道のインフラ整備もその分大変で、地域によって偏りがあるようです。

今月のTOPICS

☑ 水道水を飲めない国が多い理由は？

まず、水道の水を安全なものにして提供するということを徹底して、インフラを整備するよりも、安全な水をペットボトルなどの容器に入れて販売したほうが、コストがかからないと言われていています。そのため、水道自体はどの家にもあっても、浄水レベルが低いので安全ではないという国が多いのです。また、国によっては、井戸水を毎回汲んで飲んでいたり水道自体が通っていないという理由もあります。

☑ 水道水を飲めない国ではどうしたら良いのか？

水道水を安全に飲めない国では、やはりミネラルウォーターもしくは、水道水をきちんとろ過し消毒した綺麗な水を購入することがおすすめです。ただし、中にはこのような販売されている水ですら安全ではない国もあるそうなので、発展途上国などちょっと水事情が心配な国を訪れる際は、しっかりと下調べしておいたほうが良さそうです。もしくは、できる環境があったり、そのような器具を持っているのなら、自分でろ過して消毒するのが良いでしょう。ただし、綺麗な水は国によって値段にかなり差があります。安く購入できる国の代表としてはタイです。タイはスーパーで500mlのペットボトルの水を20円で販売しています。一方、高いのはオーストラリアで500mlのペットボトルの水がスーパーで300円程度で販売されているそうです。この値段、コーラよりも高いそうです。日頃安全な水ばかりを飲んでいる日本人は他の国の人よりも、体調を崩しやすいかもしれません。人間の身体はほとんどが水でできていますので、体づくりにはとっても重要なものなのです。生きていく上では必要不可欠な水ですから、水道水の浄水レベルが低い国では、水道水ではなく、必ず販売されている綺麗な水を飲んでおいたほうが良いでしょう。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

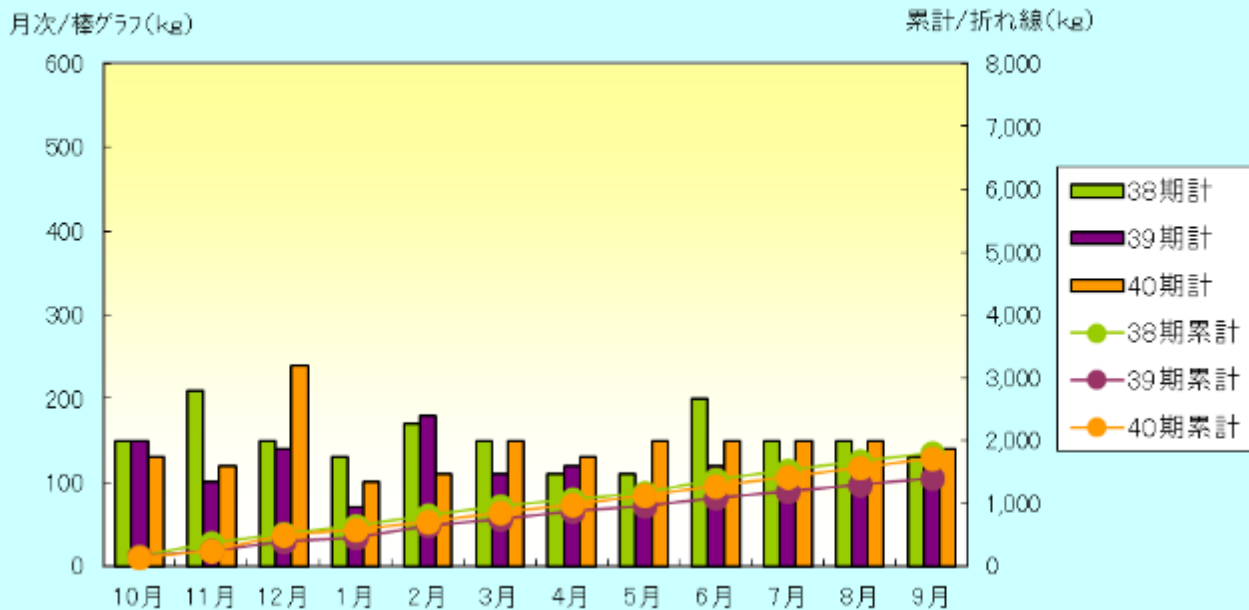
- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

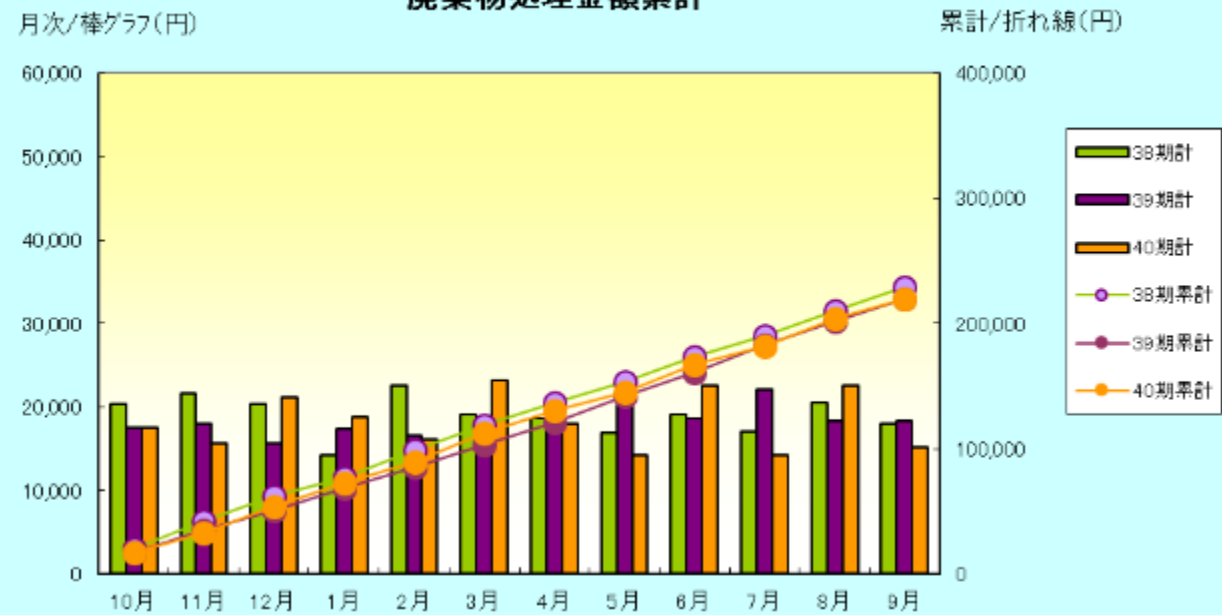
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



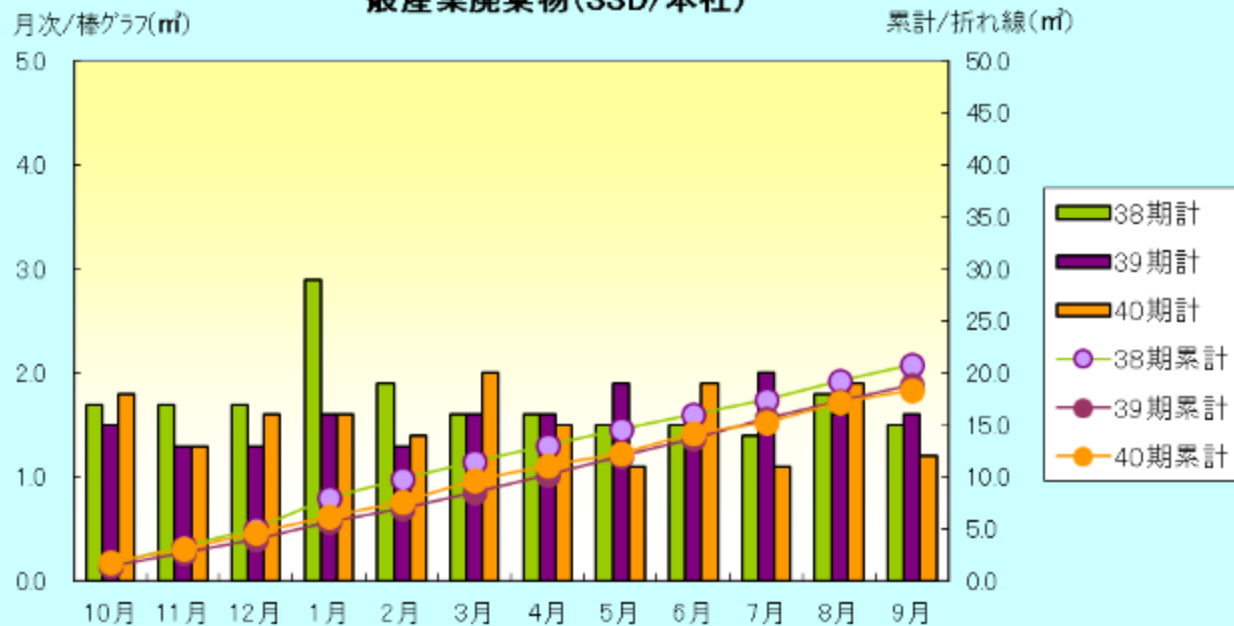
一般廃棄物(SSD/本社)



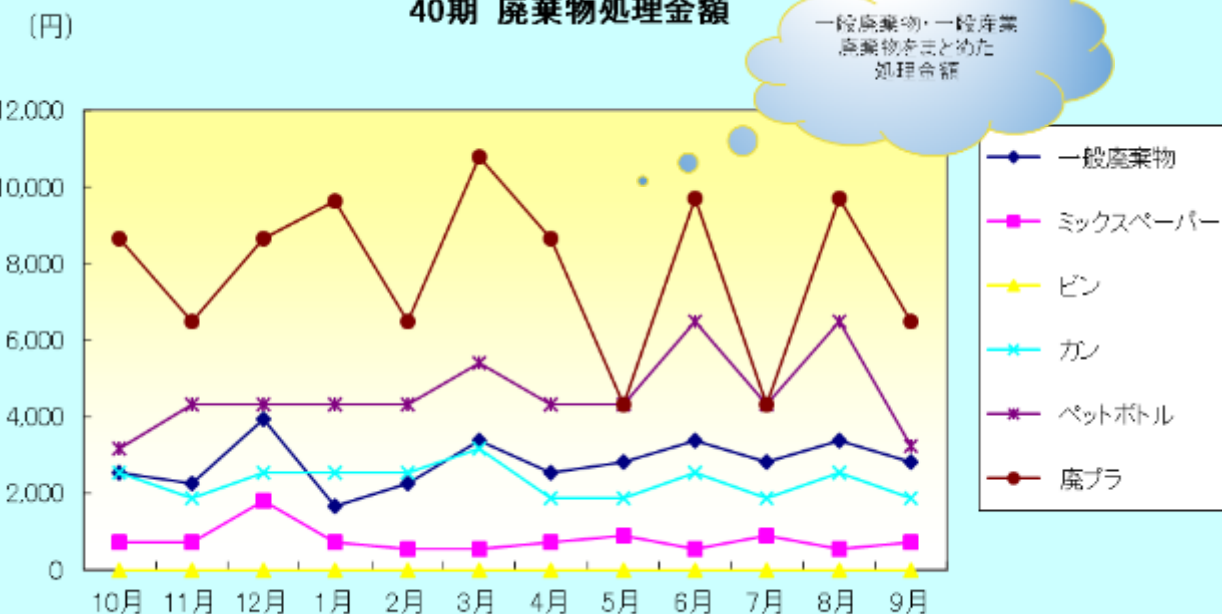
廃棄物処理金額累計



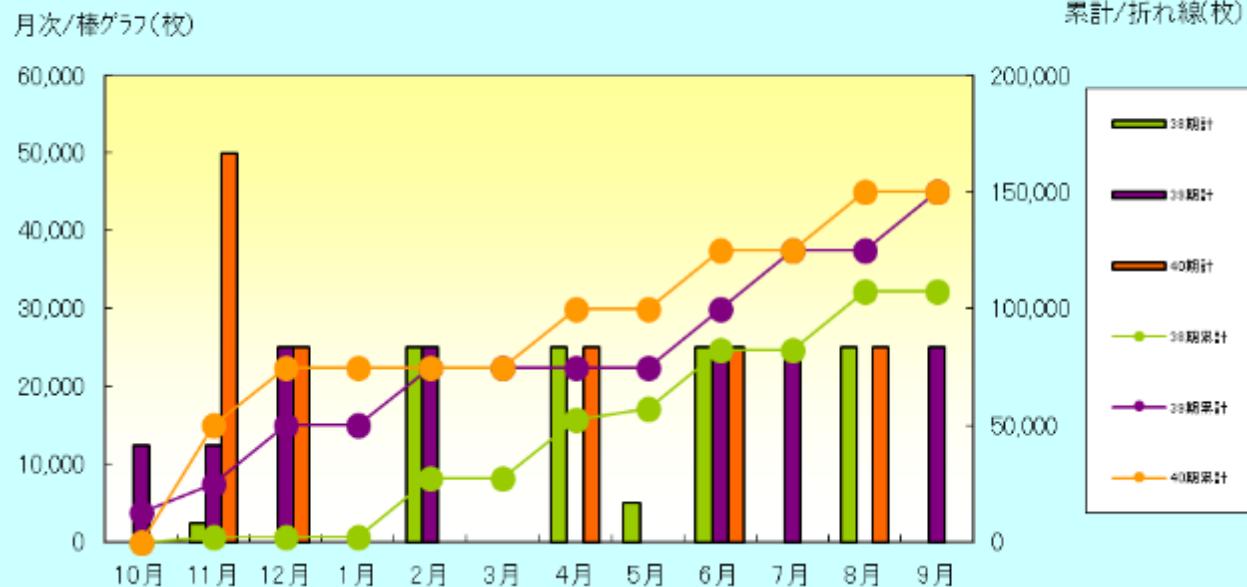
一般産業廃棄物(SSD/本社)



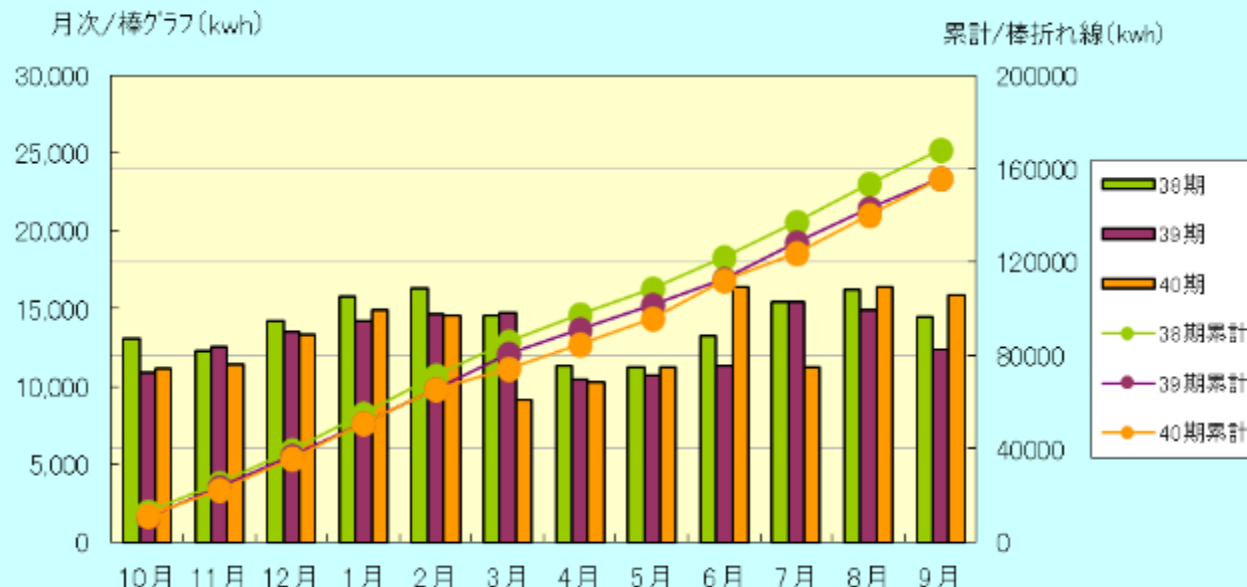
40期 廃棄物処理金額



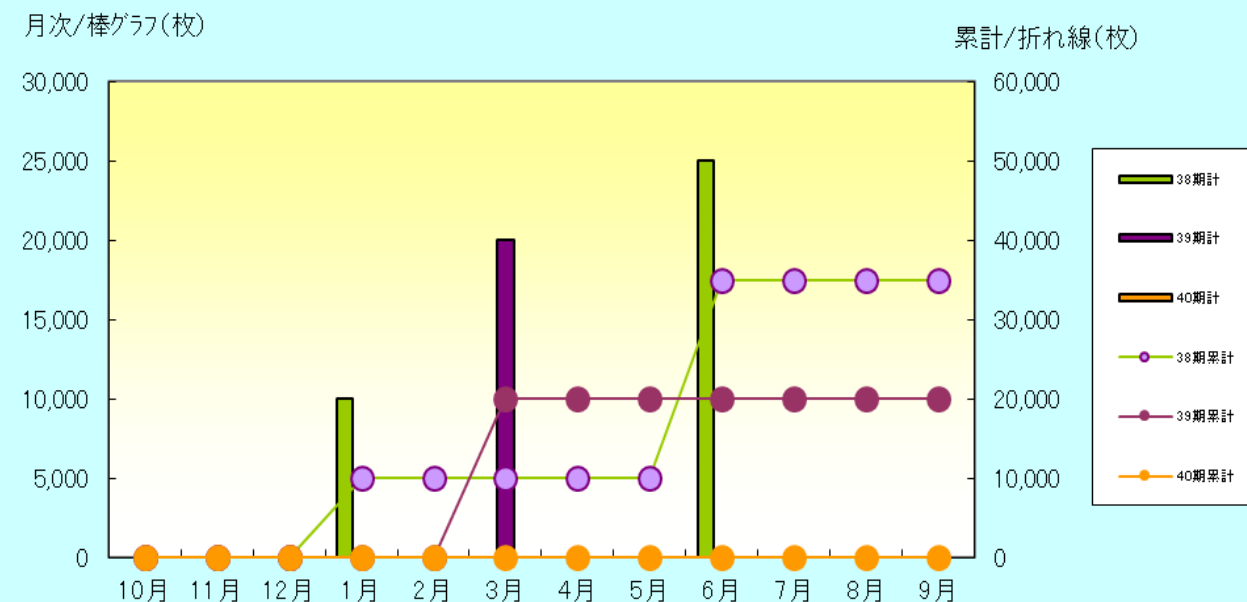
コピー用紙購入量(SSD/本社)



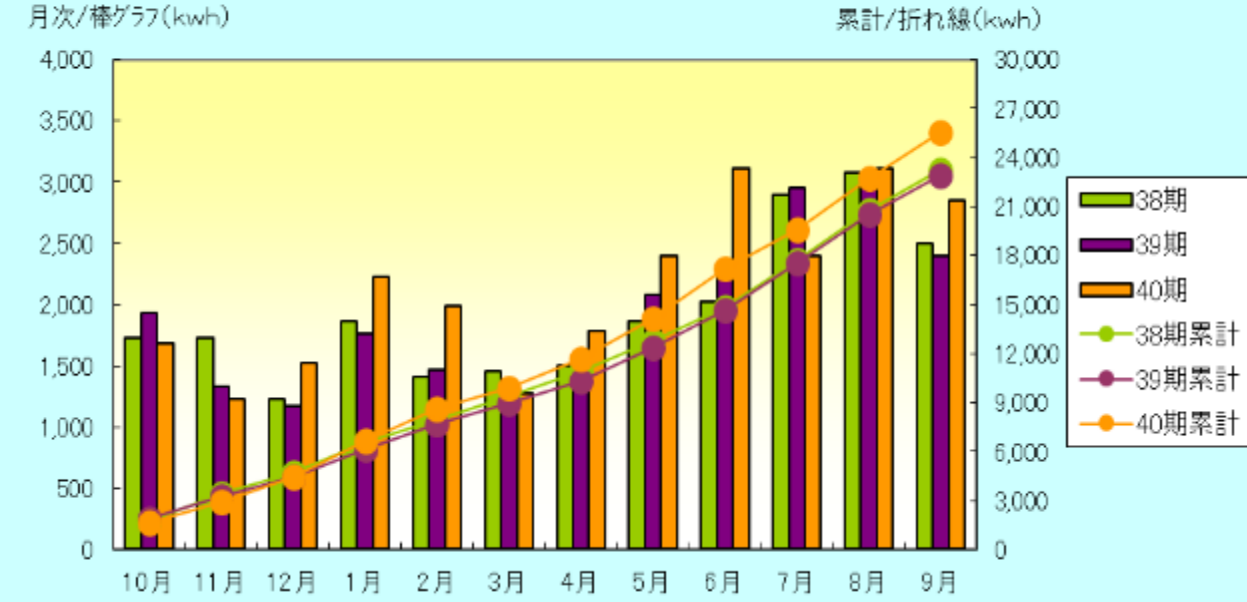
電力使用量(SSD/本社)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)



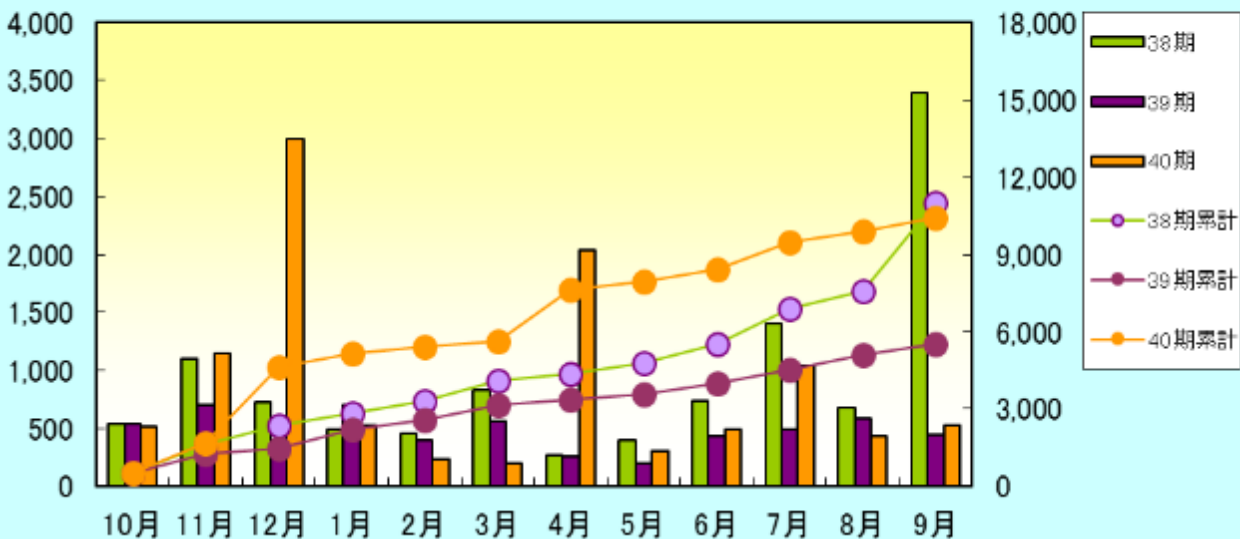
電力使用量(SSD/関西営業所)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

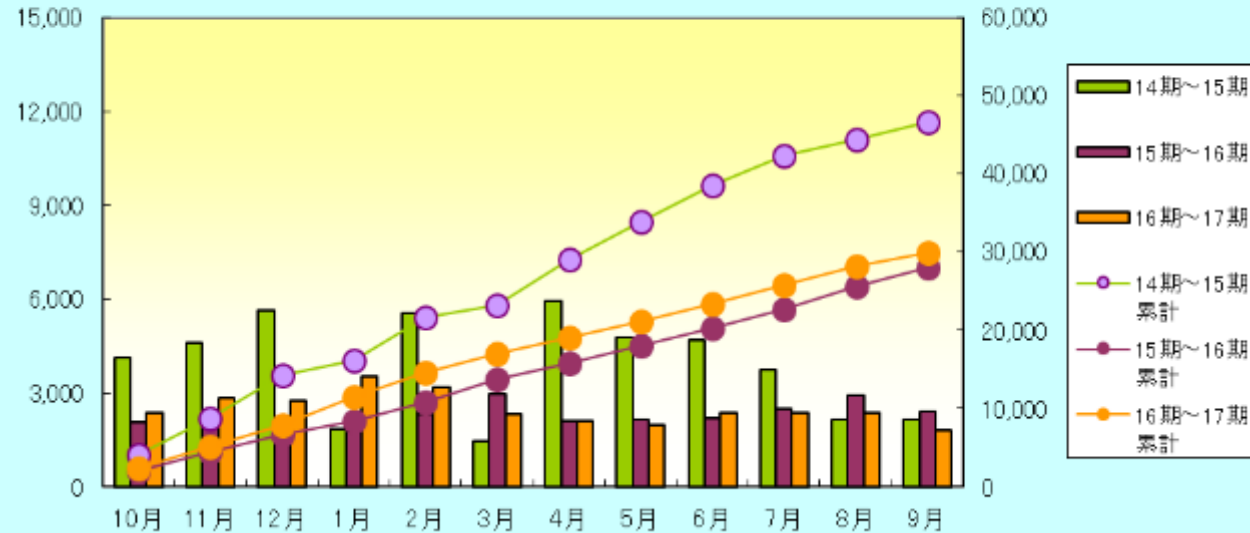
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

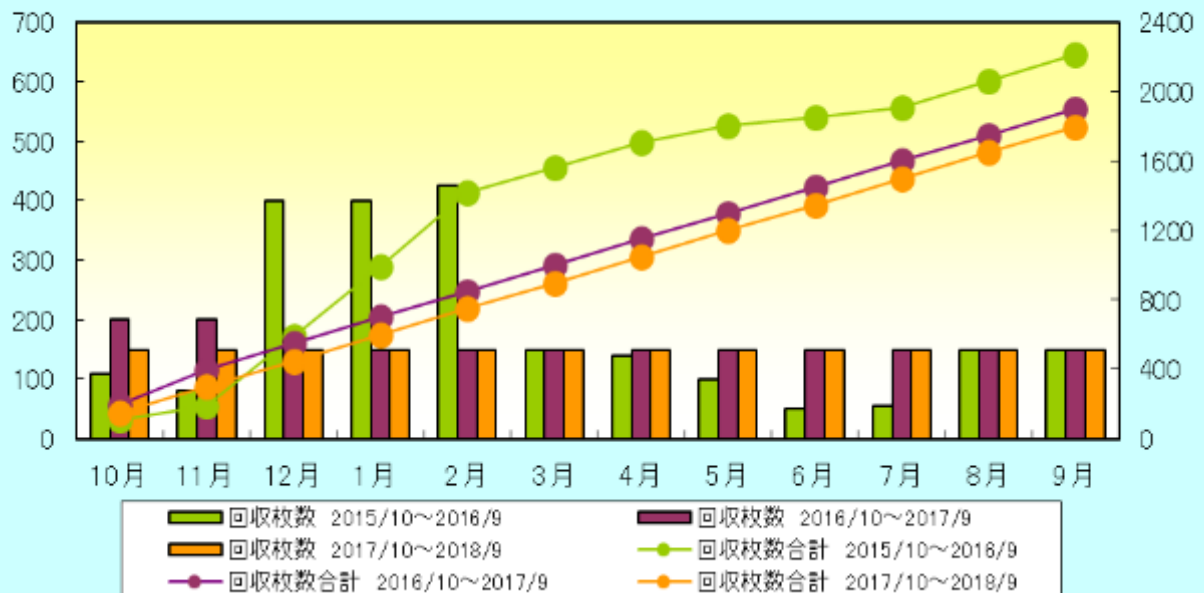
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

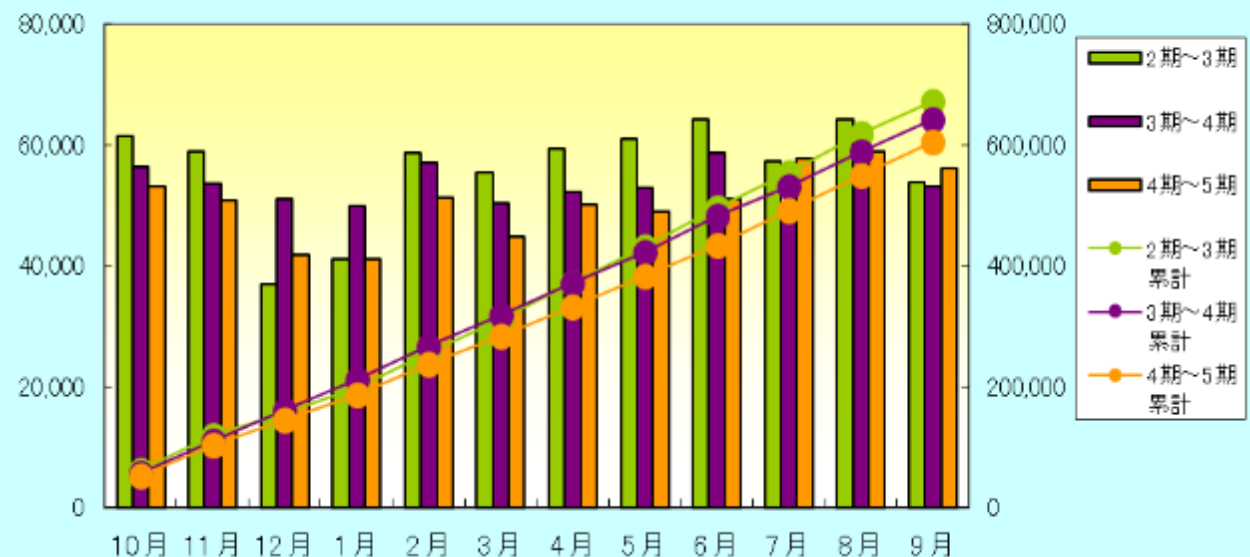
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



CSR Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS サンシン大学ビジネス実務講座 & 健康経営セミナー開講

- **ビジネス実務講座『現場力を鍛える』**
- **健康経営セミナー『「健康経営」とライフプラン~これから我々の目指すべき「健康」とは~』**

サンシン大学の一環として、サンシン電気（株）品質保証顧問 志村勝己氏によるビジネス実務講座『現場力を鍛える』が7月から10月に掛けて全4回開講されました。強い現場を作るために一人一人がどのような意識を持ち、どのような姿勢で仕事に向き合うべきか？ということ、講師の経験を交えた熱い言葉でご講義頂き、感動の溢れる全4回の講義となりました。

また、アクサ生命（株）コーポレート営業統括部 コーポレート営業開発グループグループ長・健康経営アドバイザー（初級）樋口功氏を講師としてお迎えし、健康経営セミナー『「健康経営」とライフプラン~これから我々の目指すべき「健康」とは~』についてご講義頂きました。仕事だけでなく一人一人の人生を大きく左右する「健康」について深く考える貴重な機会となりました。

講義は、国内外のサンシングループ全拠点に一斉にWEB配信されました。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（10月参加人数：延べ10名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（シグマ・フード・サービス）
- 動物介在ボランティア活動実施（シグマ・フード・サービス）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：ハロウィン&紅葉飾り

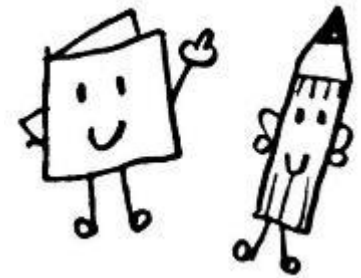


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 2ヶ月に1回、マッサージ・リフレクソロジーサービスを実施（女性を中心に10名/回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2018年5月更新）
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2018（中小規模法人部門）」の認定取得（2018年2月）⇒2年連続！
- 東京都より「平成29年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「平成29年度スポーツエールカンパニー」の認定取得（2017年11月・12月）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・英会話・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAを全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers

We're loved by our customers

*Always be a Virtuous **Shonin***

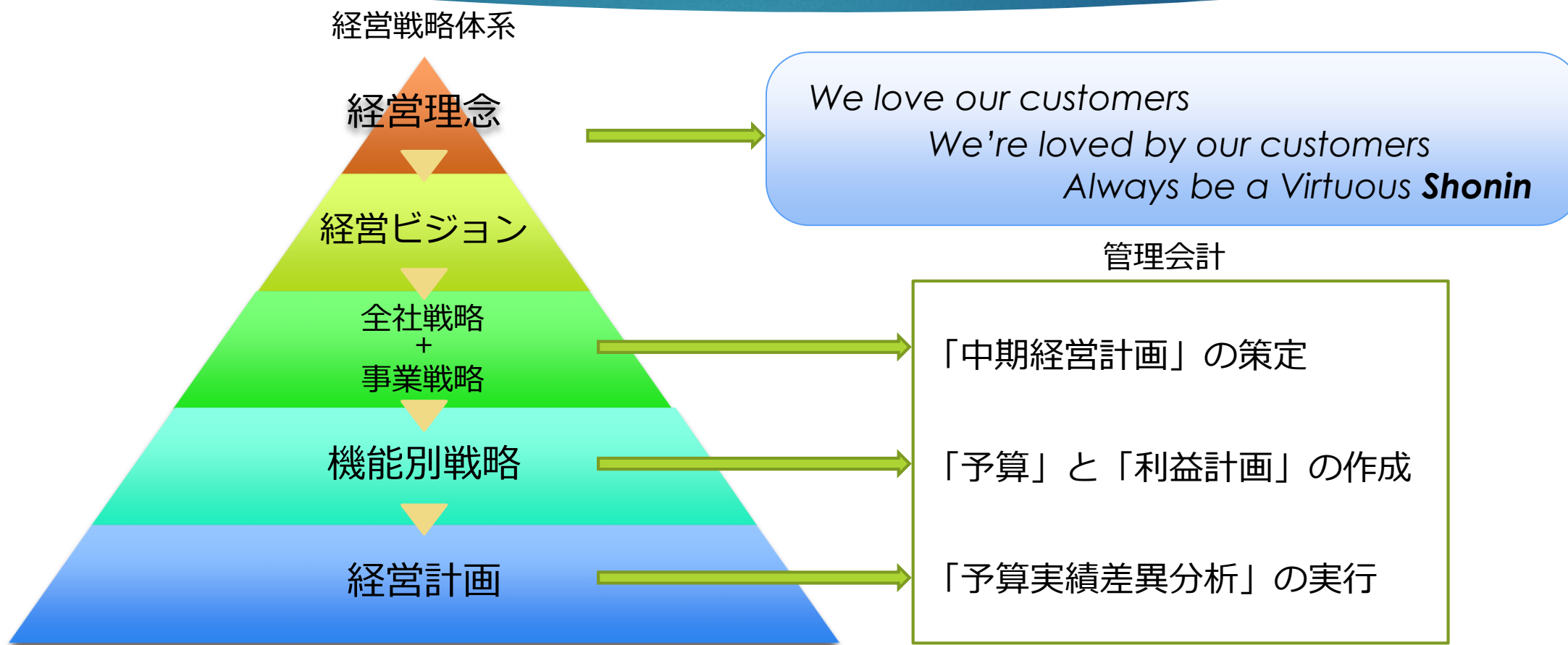
Virtue as a Shonin

It is important for us to have Virtue as a *Shonin* in order to secure our customers' approval and support at all times.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

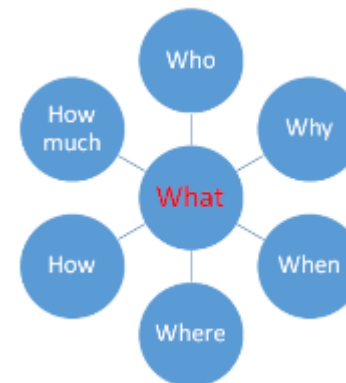
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

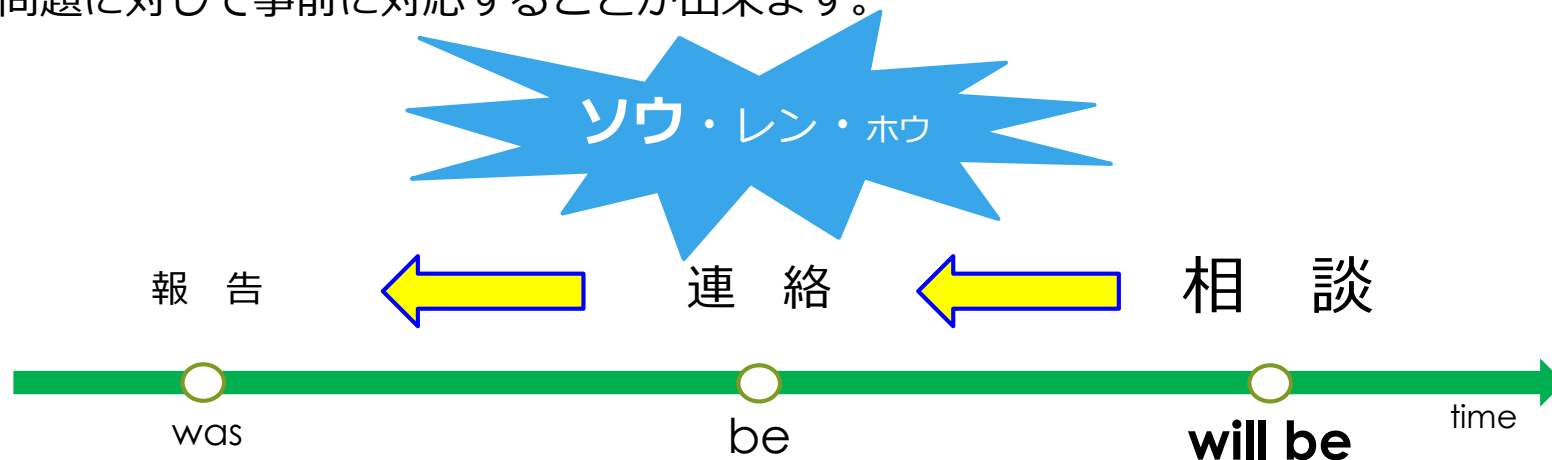


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

SSD, 品質管理課 H.O

一段と日が暮れるのが早くなり、朝晩の冷え込み感じさせられます。そろそろコートを着るか迷うところです。11月に入り空気が乾燥してきました。空気が乾燥すると鼻や喉の粘膜も乾燥しやすくなり風邪をひきやすくなったり喉の炎症を起こしやすくなってしまいます。加湿に気を付け健康にご注意しましょう。これから年末にかけて忙しい時期になります。皆様も風邪などひかないよう、体調管理に気をつけながらお過ごしください。